

令和4年度6月補正予算（国際局関連部分）の概要

1 趣旨

ロシアによるウクライナ侵略により避難を余儀なくされた方々が横浜で安心して生活できるよう、「オール横浜支援パッケージ」により、市民・企業・関係機関等の皆様と一体となり、避難民の皆様の生活を支援しています。

本市として実施している、避難民の皆様の生活の基盤を整えるための支援や、安全・安心に生活するための支援について、年間を通じて実施します。また、姉妹都市オデーサ市の青少年避難の受入れを行います。

さらに、オデーサ市の要請にもとづき、現地への緊急支援物資の提供等を実施します。

<補正額（国際局関連部分）>

（単位：千円）

	補正額	補正額の財源		
		国庫支出金	市債	一般財源
ウクライナ避難民支援事業	112,861	—	—	112,861
ウクライナ現地支援事業	40,320	—	—	40,320
合計	153,181	—	—	153,181

※今回の補正予算案で必要となる一般財源 153,181 千円のうち、避難民支援の 112,861 千円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の一部を活用します。

2 事業概要

（1）ウクライナ避難民支援事業 112,861 千円

ア 生活の基盤を整えるための準備支援

- ・避難民が入国後などに一時的に滞在できる施設の確保
- ・避難民が入居する市営住宅への家具家電等の生活必需品の整備

イ 安全・安心に生活するための支援

- ・避難民等からの相談対応・情報提供を行う「ウクライナ避難民支援相談窓口」（横浜市多文化共生総合相談センター及び市内11か所の国際交流ラウンジの計12拠点）の機能強化（ウクライナ語対応人材の配置や出張相談対応等）
- ・日本語や日本の文化習慣等に関する学習支援
- ・避難民等の居場所づくりを目的とした多目的の交流拠点「ウクライナ交流カフェ ドゥルーズィ」の運営
- ・ウクライナ情勢対応専属の会計年度任用職員雇用（駐日ウクライナ大使館、オデーサ市等関係機関との連絡調整など）

ウ オデーサ市青少年避難事業

- ・オデーサ市より協力依頼のあった中高生年代の柔道選手団の一時避難の受入れ

裏面あり

(2) ウクライナ現地支援事業 40,320 千円

ア 緊急支援物資の提供等

- ・オデーサ市における人道危機に対応するため、浄水装置等の緊急支援物資の提供等

参考1 「オール横浜支援パッケージ」について

オール横浜 支援パッケージ



一時滞在施設提供

- ✓ 来浜直後2～3週間程度
- ✓ 一時滞在用の施設（食事付）

協力：市内ホテル、JICA横浜



生活スタート支援

- ✓ 区役所窓口（住民登録、健康保険）
- ✓ 銀行口座開設、SIMカード取得

実施：対策チームが丁寧に個別支援



医療サービス

- ✓ 医療ニーズの把握
- ✓ 必要な医療サービスへの繋ぎ

実施：対策チームが丁寧に個別支援



生活に係る費用

- ✓ 一時金として一人20万円
- ✓ 当面の生活費として一人10万円を3か月分まで支給

協力：市内企業等
実施：横浜YMCA





住居・家具・家電

- ✓ 市営住宅を1年間無償提供
- ✓ 家具・家電・生活雑貨品・インターネット環境を用意

協力：市内企業等



日常生活の支援

- ✓ 生活用品や食品の提供
- ✓ 就労を希望する方への支援

協力：市内企業・団体



就学・日本語支援

- ✓ 小中学校への就学支援
- ✓ 無償を基本とした就学援助
- ✓ 日本語指導等による学習支援
- ✓ 日本語教室・通訳翻訳機の提供

実施：教育委員会事務局・区役所, YOKE



ウクライナ・カフェ

- ✓ ウクライナ避難民等の交流拠点
- ✓ 企業等の皆様による支援を繋ぐ

協力：市内在住ウクライナ人の皆様, YOKE, 横浜YMCA 等

参考2 一般会計 歳入歳出補正予算事項別明細書（国際局関連部分）

(歳出)

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				国県支出金	市債	一般財源
2 款 総務費	76,775,803	153,181	76,928,984	—	—	153,181
2 項 国際費	1,634,083	153,181	1,787,264	—	—	153,181
1 目 国際費	1,634,083	153,181	1,787,264	—	—	153,181